

豊加美幼・小だより

平成30年2月5日発行
NO.10

教育目標

自ら学び、心豊かで
たくましく生きる
豊加美の子
一人一人の個性が輝き、
ともに伸びゆく学校

児童の姿

- ① もに学び合う子
- ② いところを認めあえる子
- ③ からだをきたえる子
- ④ みんなで協力して働く子

地域の力に感謝

1月は、インフルエンザによる幼稚園閉鎖と1・3・5年生の学年閉鎖、積雪による日課変更、水道管凍結による給食変更と、緊急の対応が続きました。保護者の皆様にもご心配やご迷惑をおかけいたしました。その都度ご理解の上、適切に対応していただきましたことに心より感謝申し上げます。改めて、豊加美小の保護者の皆様の学校に対する協力態勢の温かさを感じ、本当に有り難く思いました。

1月19日(月)に予定していた「地域と連携した避難訓練」も、インフルエンザ流行のため児童の避難訓練を中止して、内容を変更しての「地域防災会議」を実施しました。2回目の実施となった今回は、前回より多くの立場の方が集まって「いざというときどう動くか」という、より具体的な内容を話し合うことができ、大変有意義な時間となりました。

まだまだ寒い日が続きますが、校庭の木々の芽も少しずつふくらんで春の訪れまでもう少し。学校もいよいよ卒業式に向けて動き出しました。各学年とも今年度のまとめをしっかりと行い、夢や希望をもち、自信をもって次のステップへ踏み出せるようにしていきたいと思えます。
(豊加美小学校長 中條 美恵)

ワールドキャラバン

1月30日(火)にワールドキャラバンを実施しました。コーディネーターの布浦さん、キャラバン隊のアルマスさん(カザフスタン)、ジョカビンさん(香港)、サナムさん(ウズベキスタン)、カロラインさん(ケニア)が来校して、母国の食べ物や通貨や衣装などの文化紹介してくれました。子供たちは、日本文化との相違に気付き、国際理解を深めることができました。

子供たちは、日本文化との相違に気付き、国際理解を深めることができました。



自助・共助(近助)・公助

1月19日(月)地域との連携による学校防災力強化推進事業を実施しました。当日は、下妻市消防交通課や豊加美小避難所担当者、老人会代表、民生委員、地域教育推進委員、山尻自主防災会、豊加美市民センター事務局の参加のもと「防災会議」を行いました。最初に、下妻市消防交通課の岡本課長及び笠島防災士から「防災訓練」についての次のような講話がありました。

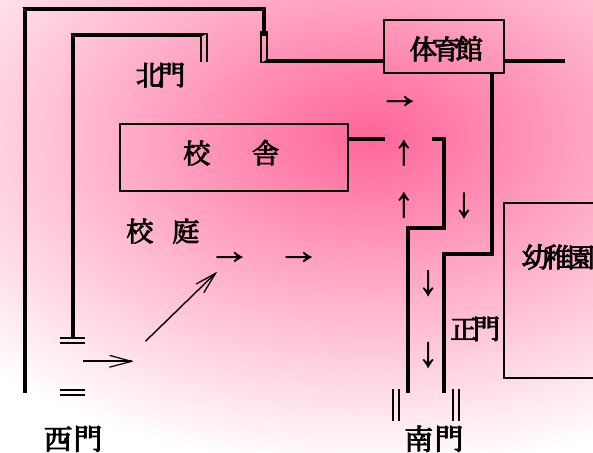
- 1 地域の防災
 - (1) 自助…自分の家族は自分で守る。
 - (2) 共助…わが町は自分たちで守る。(大災害の8割は近隣の住人によって救助された。)
 - (3) 公助…行政機関の公的支援
- 2 災害は、今日・明日・いつ起こるか分からない。「自分は、自分の町は大丈夫と安易な考えを持たないこと」「自分の命は自分で守ること」が大切です。

その後皆さんからの意見を聞いて、防災倉庫や豊加美市民センターの見学をしました。



豊加美小学校の引き渡しの際の経路

なお、車の通行は西門(校庭が使用できない場合は北門)から正門への一方通行にいたします。基本的な流れは下記のようになりますので、ご協力をお願いします。



感謝！子供たちのために5・6年生児童や地域の方にも除雪作業をしていただきました。

